

竜巻等突風の強さの評定の改善について
～「日本版改良藤田スケール」の策定～

気象庁では、「竜巻等突風の強さの評定に関する検討会」における検討結果を踏まえ、竜巻等突風の強さをより精度良く評定できる「日本版改良藤田スケール」を策定しました。

気象庁では、平成 24 年 5 月に茨城県等で発生した甚大な竜巻被害を受け、竜巻等突風の強さ（風速）をよりの確に把握するため、平成 25 年 7 月より、「竜巻等突風の強さの評定に関する検討会」（会長：田村幸雄 東京工芸大学名誉教授）を開催し、その方策について検討を進めてきました。

今般、検討結果を踏まえ、従来評定に用いてきた「藤田スケール」を最新の風工学の知見を基に改良した「日本版改良藤田スケール」を策定しました。これにより、日本の建築物等の被害状況から、竜巻等突風の強さをより精度良く評定することが可能となります。気象庁では、この日本版改良藤田スケールを用いた竜巻等突風の強さの評定を、平成 28 年度より開始する予定です。

日本版改良藤田スケールの特徴や使い方等の詳細については、「日本版改良藤田スケールに関するガイドライン」をご参照ください。

【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 観測部 計画課 情報管理室
03-3212-8341（内線 4150）

(参考)

竜巻等突風の強さの評定に関する検討会 委員

伊藤 優	株式会社日本設計構造設計群常任技術顧問
奥田 泰雄	国土技術政策総合研究所建築研究部建築新技術統括研究官
喜々津仁密	国立研究開発法人建築研究所構造研究グループ主任研究員
坂田 弘安	東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻教授
小司 禎教	気象研究所気象衛星・観測システム研究部第二研究室長
鈴木 寛	国立研究開発法人森林総合研究所気象環境研究領域気象害・防災 林研究室長
田村 幸雄	東京工芸大学名誉教授
○ 新野 宏	東京大学大気海洋研究所海洋物理学部門海洋大気力学分野教授
前田 潤滋	九州大学大学院人間環境学研究院教授

(: 会長、○ : 会長代理、敬称略)

【検討の経過】

- ・ 第1回検討会（平成25年7月3日）
 - （1）検討会の趣旨等について
 - （2）竜巻等突風の強さの評定に関する国内外の動向
 - （3）検討会の今後の進め方について
- ・ 第2回検討会（平成26年3月4日）
 - （1）日本版改良藤田スケールにおける被害と風速の対応付けについて
 - （2）日本版改良藤田スケールにおける被害指標（DI）案について
 - （3）平成25年の竜巻等突風の発生状況について
- ・ 第3回検討会（平成26年8月1日）
 - （1）日本版改良藤田スケールの階級区分の考え方について
 - （2）平成26年の竜巻等突風の発生状況について（中間報告）
- ・ 第4回検討会（平成27年3月6日）
 - （1）日本版改良藤田スケールの階級分け実施手順について
 - （2）現象を代表させる推定風速の決定方法について
 - （3）日本版改良藤田スケールにおける被害度（DOD）案について
 - （4）日本版改良藤田スケールに関するガイドライン骨子案について
 - （5）平成26年の竜巻等突風の発生状況について
- ・ 第5回検討会（平成27年10月2日）
 - （1）日本版改良藤田スケールにおける被害指標（DI）・被害度（DOD）と風速の
対応案について
 - （2）日本版改良藤田スケールの階級区分案について
 - （3）日本版改良藤田スケールに関するガイドライン案について
- ・ 第6回検討会（平成27年12月21日）
 - （1）日本版改良藤田スケールに関するガイドライン案について
 - （2）検討会の今後について